

シェムリアップ Moi Moi ライフ

ISSUE
106

「Moi Moi」とはクメール語で「ひとつずつ、ゆっくり」との意味。恵み豊かなカンボジアでのスローライフをお届けします。



小出 陽子 (Yoko KOIDE)

1992年早稲田大学大学院卒。一級建築士。2000年、UNESCO/JSA 遺跡修復オフィス建設のため、カンボジアに赴任。2005年シェムリアップにレストラン Cafe Moi Moi をオープンする。同年JST (NGO: アンコール人材養成支援機構) を設立し、農村地域の支援活動を始める。2013年“アンコールの都の西北”に公立のバイヨン中学校を創設。2019年には高校も併設され、現在、全校生徒 630人の学校運営を行っている。

● JST ホームページ
<http://www.jst-cambodia.net>

パプリカミ歌って英語授業!

後で忘れないようにとメモをとったまま見返すことなく時が過ぎ、挙句の果てはそのメモそのものの記憶もどこか追いやりれてしまう…。私自身はその繰り返しですが、ここカンボジアでは、その場で覚えてしまふ習慣が身につけているようで、皆記憶力抜群。学校に通うのに一冊のノートさえ買えなかった時代が最近まで続いたカンボジアならではのしょうか。バイヨン中学校でも、生徒たちは授業中、先生の言葉を一言も聞き漏らすまいと真剣そのもの。周りとおしゃべりをしたり、ましてや居眠りをしている生徒は一人もいません。

そのような中、昨年11月に高校が併設されたバイヨン中学校では、初年度は高校の英語教師が着任しないことがわかり、急遽日本の大学生ボランティアが高校1年生の英語の授業を担当することに。しかし、生徒たちは中学生レベルの英語もままならないことから、まずは英語に慣れてもらうために歌を授業に取り入れることになりました。



4か月間で、英語／日本語の歌を10曲ほど教えましたが、歌詞を覚えるのが早いこと早いこと！カンボジア人の得意分野から攻めていく学習法でありそうですね。



ミュージッククラス



パプリカ



運動会



そんな英語授業の試行錯誤の様子を、担当した大学生ボランティアが帰国前に動画にまとめてくれました。生徒たちの歌声をバックミュージックに使った「バイヨン中学校運動会」動画もつくりましたので、ぜひご覧ください！